

令和3年7月1日発行  
第53号

# 岡星寮だより

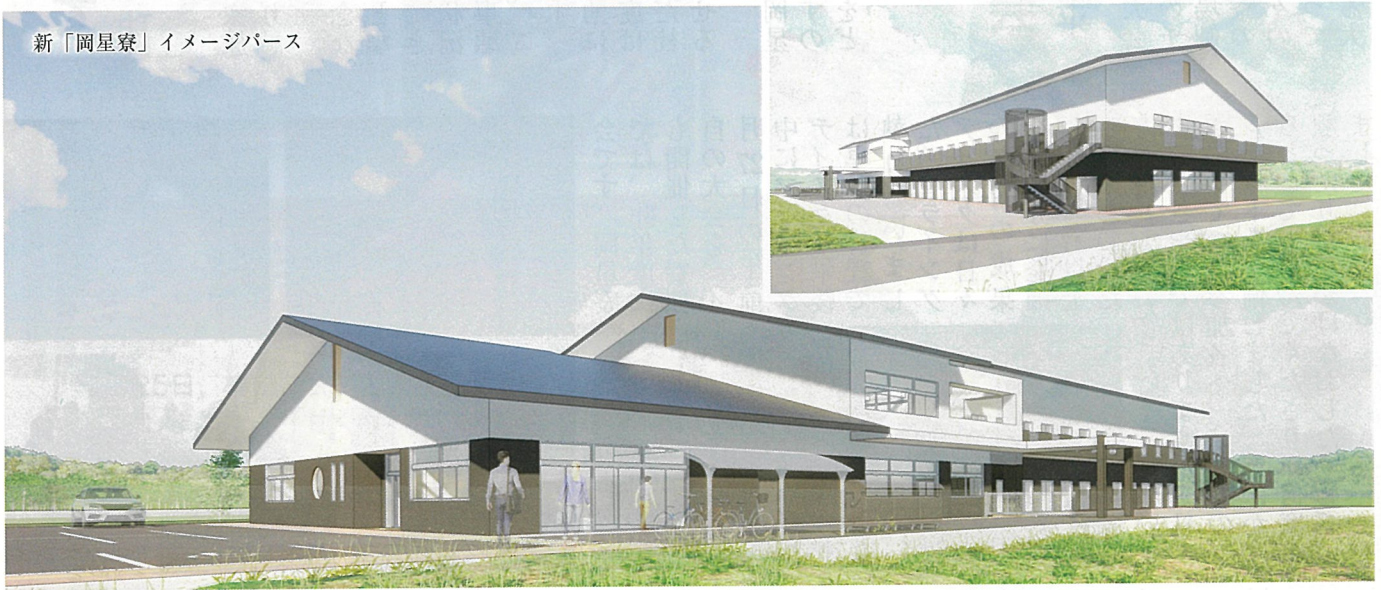
〒703-8235

岡山市中区原尾島 4-17-37

TEL (086) 272-1072

FAX (086) 271-3372

新「岡星寮」イメージパース



## 岡星寮だより挨拶

岡星寮長 加藤 憲



コロナ禍も2年目と  
なった。しかし、必要な  
医療提供体制の見直しは  
遅々として進まず、ワク  
チン接種も始まったばかり  
で、集団免疫の獲得には  
ほど遠いまま、自衛が  
余儀なくされる生活が  
延々と続いている。

この間、より感染力の  
強い変異体も出現し、ワ  
クチンの有効性が低下す  
るだけでなく、ウイルス  
の変異速度にワクチンの  
製造が追いつかなくなる  
ことすら危惧されるに至  
り、この1年間、我々には  
いったい何をしてきたの  
だろうという思いに囚わ  
れるのを禁じ得ない。  
ともあれ、岡星寮で  
は、マスク・手洗いの徹  
底やグループ別に時間差  
を設けての作業をはじめ、  
万々に備えての衛生用品  
の備蓄、次亜塩素水生成  
機・オゾン発生装置の導  
入など、可能な限りの対  
応を行ってきた。  
また、ご家族の皆さん  
やボランティアの方々  
に支えていただいていた  
はじめて可能な三人行事

は、  
り旅行、寮祭、忘年会  
従来どおりの形態では  
施できなかったため、職  
員のみで行うことを試  
行錯誤しながら、人が少  
ない場所での散策やドラ  
イブ、感染防止に配慮し  
ながらのカラオケ、スポ  
ーツ大会などを代替行事  
として実施してきた。三  
大行事では見られなかつ  
た利用者さんの笑顔に  
触れられるなど、嬉しい  
発見もあり、職員の創意  
工夫や頑張り感謝してい  
る。

とはいうものの、自由  
に外出することができず、  
ボランティアの皆さんと  
交流することも叶わない  
状況に、利用者の皆さん  
がストレスを蓄積させて  
いることは否めず、心が  
痛む。「自粛疲れ」を批判  
する向きもあるが、明る  
い将来の展望がない閉塞  
感溢れる状況下で、人は  
いつまでも耐えることは  
できない。一日も早くコ  
ロナ禍前の生活を取り戻  
せることを切に願う。  
なお、築50年が経過し  
老朽化が進んでいる岡星  
寮の建替えについては、  
現在、敷地の造成工事が  
概了しており、今後、来  
年度の建築着工に向けて、  
所轄庁との事前協議をは  
じめ、建築資金の一部を  
借り入れる独立行政法人  
福祉医療機構、協調融資  
金融機関との協議調整を  
鋭意進めて行きたいと考  
えている。  
もとより、来年度の着  
工が約束されている訳で  
はなく、紆余曲折も予想  
されるが、利用者の皆さん  
だけでなく、ご家族や

ボランテアの方々、そ  
して、職員も、皆の笑顔  
が溢れる安全で快適な「大  
きな家」を、何としても  
作り上げたいと思ってい  
る。  
皆様方のご支援ご協力  
を、よろしくお願い申し  
上げます。

追記・保健所で働く皆さ  
んへの謝意

コロナ禍での保健所  
業務は、医師である保  
健所長の指示の下、病  
状を聴き取ってPCR  
検査の要否を確認し、  
PCR検査を実施する  
場合には検査日時・場  
所の調整と連絡、PCR  
検査の結果説明、陽  
性と判定された場合に  
は入院・療養施設入  
所・自宅療養の振分け、  
感染経路の調査、濃厚  
接触者の確認と必要が  
あればPCR検査の勧  
奨、自宅療養者への1  
日2回の電話等々で多  
忙を極め、業務は深夜  
に及び、満足に休日も  
取れない状況である  
う。心身の健康を損ね  
る人も少なからずい  
るのではないかと心配し  
ている。  
地域保険法の制定以  
来、再編合理化が進め  
られた結果、少人数で  
コロナ禍と向かい合  
い、自身や家庭を犠牲  
にしながら、使命感の  
みで職務に従事してい  
る保健師の皆さんに  
は、心から感謝を申し  
上げたいと思う。

# 家族会総会について

生活支援員 熊代 功

ご家族の皆さまには日頃から家族会活動へのご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

コロナ禍のなか、今年度も残念ながら家族会総会を中止することとなりました。2年間、総会を開催できず役員改選も延期となっている状況ですが、利用者の皆様を不測の事態から守るための最善の策として、ご理解を頂いていることと思います。

ワクチン接種もようやく本格的に開始されるようですので、来年度はコロナウイルスとの共生が進んだ社会になり、普段の日常を取り戻せることを願っております。

ご家族と利用者の皆様の絆が岡星寮を支える力に繋がっていますので、今後とも家族会へのご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

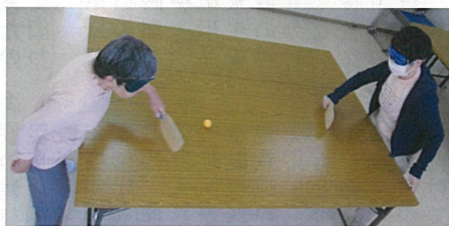
## 第2回 岡星寮スポーツ大会

生活支援員 藤高康平

今年度の岡山県障害者スポーツ大会は、新型コロナウイルス感染症の予防策として、すべての種目で出場制限が設けられていました。岡星寮の多くの利用者が参加できず、日々の練習の成果を発揮する場面を失っていました。毎年楽しみにしている大



会です。岡星寮では、昨年度にも開催した寮独自の大会を、4月27日の午前中にフライングディスク、午後は卓球の日程で執り行いました。フライングディスクは日々の練習の成果を十二分に発揮し、いつも以上の結果を残せた方がほとんどだったように思います。ささやかではありますが、日々頑張っている参加者へ、メダルのプレゼントを準備しました。首にかけてとても喜んでくださり、何度も触ったり首にかけなおしたりしていました。



午後からの卓球はとてもしラックスした状態でできたためか、いつもよりラリーが繋がり、見ている職員のほうが興奮してしまうほど白熱したものでした。卓球の参加者には、記念品にタオルを贈呈し、喜んで頂けました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、障害者スポーツに関する不透明な状況が続いていますが、来年こそは！と意気込み、日々の練習に取り組んでいきたいと思っています。

## 障害者週間アール・ブリュット展

生活支援員 岩本真由美

岡山県保健福祉部、障害福祉課主催の障害者週間アールブリュット展に佐藤浩気さん、三宅玲子さん、三宅隼人さんの作品を出品して、県庁正面玄関ロビーに展示しました。



		令和3年度		令和4年度	
		家族会役員名簿		家族会役員名簿	
会長	八杉 一正	副会長	中尾 年晴	理事	小山 栄
副会長	三宅 幸江	理事	佐藤 邦子	監事	川崎 昌之
理事	塩田 順三	監事	小野田 良子		岡 雅之

(令和3年4月1日、令和4年3月31日)

# 今年もお花見に行きました！

今年も4月に入り、恒例のお花見に少グループに分かれて行ってきました。コロナウイルス感染対策のため、蜜を避けて、あまり人のいない場所で桜の咲く春の雰囲気を楽しみました。

生活支援員 渡辺 弘



# さつまいの苗植え



5月25日、梅雨の合間の晴れに、さつまいもの苗植えをしました。「甘くなれ、甘くなれ」と植えたので、10月には、きっと甘くて大きなさつまいもができることと思います。

生活支援員 西村陽子



## 退所された利用者の方



令和3年1月29日、青井榮子さんが退所され介護施設を利用することになりました。32年間、岡星寮で家族のように一緒に過ごされた利用者の皆さん、青井さんとの楽しい思い出がたくさんあります。笑顔がチャームで編み物や歌を歌うことが大好きで、お世話好きな方でした。我々職員も助けていただくことが多くありました。いつまでもお元気でいてください。また会える日を楽しみにしています。長年に渡りご家族の皆様には岡星寮の運営にご協力いただきありがとうございました。



令和3年5月31日に小林文雄さんが退所されました。いつも穏やかで、笑顔がとても素敵な方で、私たち職員を癒してくださいました。昨年末の忘年会で喜寿のお祝いをみんなでしたことが、つい最近のことであったかのように記憶に刻まれています。生まれ育った神戸のご家族のそばで元気にお過ごしください。

## 新任の挨拶



生活支援員 大久保 登代子

冬から春になり利用者の皆さんと楽しく会話をし、季節の自然を感じながら散歩をさせていただいています。12月から新しく勤務させていただいています。皆さんから教えて頂くことも多く、感動と新鮮な気持ちです。明るく、積極的、前向きに、皆様の1日1日を大切にしながら、少しでも幸福を積み重ねていただけるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお祈りします。

## 新任の挨拶



生活支援員 藤原 勝

昨年、12月より勤務させて頂いています。今までは障害者さんの施設や支援学校等で働いていました。学んできたこと、経験してきたことを活かし、少しでも利用者の方々の笑顔が増え、楽しんで頂けるよう努力していきたいと思っています。よろしくお祈りします。

# ★(令和3年1月～6月)ボランティア活動実施状況

(ボランティア活動については、新型コロナウイルス感染症対策のため休止しています。)

- \* 福祉ボランティア・ひまわり (毎週土曜日における喫茶店へのガイドヘルプ) (敬称略)  
休止中です。
- \* ボランティアグループ・つくしんぼ (毎月1回日曜日における寮内活動)  
休止中です。
- \* 岡室 (毎週土曜日に朗読・ギター演奏・合唱会・電話での対話)  
朗読については利用者の方の希望を聞き朗読テープを作成して提供していただきました。  
合唱についても利用者の方のリクエストをテープに録音していただきました。  
対話については、数か月に1回朗読グループによる電話での対話をして頂きました。
- \* 赤木 (点訳本の提供)  
2ヶ月に毎位に点訳の本を提供していただきました。
- \* 中野、中尾成介、合田 (毎週日曜日にパソコンクラブの指導)  
休止中です。



## 苦情・要望等について

生活支援主任 福田 陽子

令和2年度の苦情対応研修の中で、精神障害をお持ちの方への相談援助の知識も学んだとのことでした。  
頑張りすぎている気持ちに寄り添い、解決できることはその場で解決し、安心の保障を心がけることが大切です。また、「ひとりでない」ことを伝えて安心してもらおうことも忘れてはならないと感じました。  
今年度の研修でも新しい知識を学び、役立てていきたいと思っています。

### 寮長ヒアリング

(令和2年9月実施)

苦情 15件

要望 34件

(令和3年2月実施)

苦情 9件

要望 22件

### 第三者委員 (佐藤幸子さん) ヒアリング

新型コロナウイルス感染症防止のため実施できませんでした。

### 苦情受付係への苦情

(令和2年9月26日)

1件

## 令和2年度 ボランティア活動状況

生活支援員 直原 弘美

☆日帰り旅行・寮まつり・忘年会の行事は代替行事で実施しました。  
いつもお世話になりありがとうございます。

昨年度も新型コロナウイルス感染症が流行し、利用者さんが楽しみにしている行事等が、代替の行事となつてしまいました。一体いつになったらと、先も見えず何をするにも制限の中で、ボランティアの皆様とのふれあいも持つことができず淋しい日々でした。

いつかはコロナウイルスも落ち着き、ボランティアの皆様と行事ができる。喫茶店に行くことができる。寮内でお話したり歌を歌ったりできると希望をもちながら頑張っています。どうぞこれからもよろしくお願ひします。

ご寄付(1月～6月) ありがとうございます

\* 最上稲荷絵本山奉賛会

節分福豆・みかん

\* 梶谷福祉基金

岡星寮まつり代替行事助成金

## 令和3年度の行事予定

10月17日(日) 岡星寮まつり  
12月28日(火) 岡星寮忘年会

今年もコロナウイルス感染状況により、利用者さんの健康面に配慮して、行事の延期や変更が考えられます。本年度も皆様のご協力をよろしくお願ひします。

## ● 編集後記 ●

コロナウイルスが長引き、暑さが増す中、いかがお過ごしでしょうか。

岡星寮では少しでも利用者の皆さんが楽しめるような行事を検討しており、利用者の皆さんと一緒に支援員もリフレッシュができればいいと考えています。

暑い時期になりますので、体調に気をつけてお過ごしください。

(編集委員一同)

